

社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院 広報誌

2025

2

TAKE  
FREE

Vol.28

ご自由にお持ち帰りください

# まごころ高槻

特集

D  
館大解剖





# まごころ高槻

February Vol.28



## 目次

病院長よりごあいさつ	2
特集 D館大解剖	3
コラム 感染管理認定看護師	10
イベントレポート チーム医療のご紹介	11
イベントのお知らせ「第8回市民公開講座」 新任先生のごあいさつ	12
栄養課だより カカオポリフェノールの健康パワー!	13
診療所紹介 おおぎたに内科・胃腸内科	14

## 患者さんが「入る時より、出る時に、 ちよっぴり心が豊かになる」病院をめざして

2024年10月1日、祐生会みどりヶ丘病院では新病棟D館が完成しました。同時に、私がいどりヶ丘病院に着任し28年、病院長に就任し12年になります。

新病棟を創るにあたっては、「私たちは真心の医療と福祉を通じて地域の人々に貢献します」という当院の理念に鑑み、これまで当院に不足していました2つのコンセプトに基づき設計を行いました。

1. 建物はもちろん、内装・アメニティにおいても気を配り、患者さんにも働く職員にも優しい病棟であること
2. どんなに医療環境が変化しても、常に進化し、フレキシブルに対応できる病院であること

また、新病棟では災害や感染への対応力を上げるために個室を大幅に増設し、2階の中央手術室では最新の医療機器を導入しました。これによって地域の二次救急病院としての役割を十分に発揮し、より安全で高度な医療の提供ができるように努めてまいります。

そして、何より来院される患者さんが「入る時より、出る時に、ちよっぴり心が豊かになる」、そのような病院でありたいと考えています。

祐生会みどりヶ丘病院は、これからも末永くこの地域で求められる医療を行い、社会に貢献する病院であり続けたいと思います。そのことが我々の責務であり、皆さまに対する最大限のお礼であると考えます。

病院長

新井基弘  
あらいもとひろ





# D館大解剖

2024年10月にみどりヶ丘病院のD館がオープンしたことをご存知でしょうか？

清潔で綺麗な入院病床と最先端の医療機器を備えた手術室で、地域の皆さんの健康をより一層支えてまいります。今号ではそんなD館を大解剖。

D館各階の師長や医師、手術看護認定看護師が、D館の魅力や特長を皆さんにたっぷりお伝えします！



北西面



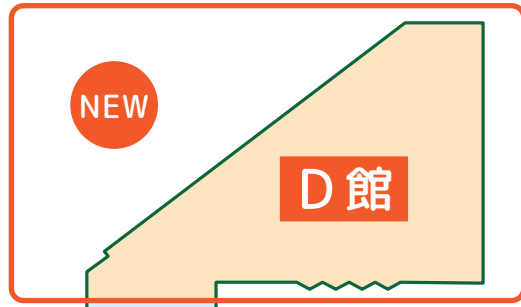
北東面



西面



南西面



NEW

D館

A館

B館

1階平面図

C館

玄関入口

D館は  
1階と3階が病棟、  
2階が手術室です



スタッフステーション





3F  
病棟

---

2F  
手術室

---

1F  
病棟



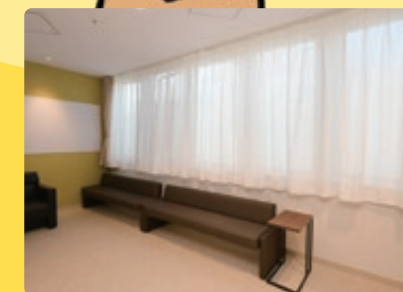
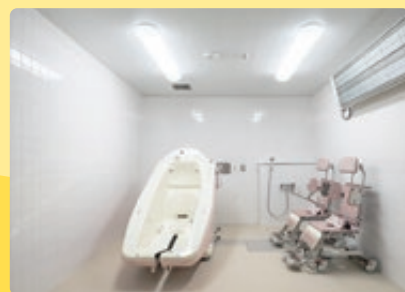
3F  
病棟

---

2F  
手術室

---

1F  
病棟



大胡 真紀  
だいご まき

D館3階師長

D館3階は、急性期の治療を終え、身体機能の回復を図る時期にADL（日常生活動作）の改善や失われた機能の再構築をめざし、チームで関わりながらリハビリを行う回復期リハビリテーション病棟です。言い換えると「在宅復帰・職場復帰をめざす場所」です。既存のA館3階の回復期リハビリテーション病棟からつながる形で開設しています。リハビリ専門医・看護師・セラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）・ソーシャルワーカー・栄養士・薬剤師・メディカルポーターなど多くの専門職がチームとなって、患者さんがご自宅や地域へ安心して帰れるよう自立を支援します。

D館1階師長  
庄司 直樹  
しょうじ なおき

D館1階は、救急搬送された患者さんの専科を問わず緊急入院を担う病棟です。患者さんの入院による戸惑いや不安を少しでも軽減するためにチームで入院後のサポートや、早期に社会復帰ができるように支援しています。また、感染症の緊急入院でも万全の感染対策が実施できるよう、疾患に対する勉強会や感染防止対策の研修を日頃より積極的にを行い、知識と技術の向上に努めています。患者さんに対して親切丁寧に、そしてなにより安全安楽に入院生活を送っていただけるようサポートします！





3F  
病棟

2F  
手術室

1F  
病棟

**手術映像システム**

手術室のリニューアルに伴い、手術室外へ手術室の進行状況を配信するモニタリングシステムを導入しました。緊急事態でも迅速な対応を行えるように、常に情報共有を行い、チーム医療を促進しています。

新病棟開設により手術室が新しくなりました。最新の設備を整え、医療安全を第一に専門的知識と技術を提供しています。整形外科・脊椎脊髄外科・脳神経外科・外科・泌尿器科・循環器内科の手術を行っており、いつでも二次救急病院として緊急手術が行えるような体制をとっています。また、術前後訪問を通して患者さんの気持ちに寄り添えるような関わりを大切にしています。

D館2階手術室師長

おかもと  
岡本 さち子



手術用顕微鏡  
「Carl Zeiss KINEVO 900」

**新型顕微鏡でより精度の高い治療を提供**

このたび、以前の手術用顕微鏡よりもグレードアップした最新鋭の顕微鏡「Carl Zeiss KINEVO 900」を導入しました。腫瘍を摘出する際に特殊な蛍光の光を当てて腫瘍の位置をわかりやすく示したり、手術後の血流をリアルタイムで確認し、手術が成功したかどうかをその場で判断できる機能などが付いています。将来的にはモニターに映して手術を行う外視鏡や、ナビゲーションシステムと連動させるなど機能を拡張する構想もあり、実現すればさらに正確で質の高い医療を提供できるでしょう。

副院長兼脳神経外科部長

たかはし かずひろ  
高橋 一浩

**広くて作業も衛生管理もしやすい手術室**

D館2階は手術専用フロアとして、機材庫、物品収納庫、滅菌収納室、中央材料室などが独立した部屋になっています。新しい洗浄機器、滅菌機器も導入し、より迅速かつレベルの高い衛生管理ができる設備・環境が整いました。手術室は以前の倍近くの広さになり、動線が改善されて準備や手術がより円滑に進められるようになりました。また、手術室内とスタップステーションに設置されたモニターに手術の様子が共有されるので、進行状況を把握しながら効率的に業務を進められます。これまで清浄度レベルが高いクリーンルームの手術室は1部屋だけでしたが、クリーンルームが2部屋に増えたことにより手術の枠が増えたので、患者さんをお待たせすることも以前に比べて少なくなりました。

手術看護認定看護師

やました ゆういち  
山下 祐一





### 手術用3DCアーム

3DCCTの撮影機器「3DCi arm(術中透視装置・以下3DCアーム)」は、主に整形外科の骨折の治療や脊椎の手術で使用される医療機器で、X線画像を3次元的に取得するためのものです。

従来の「手術用Cアーム」が提供する2D画像に加えて、この「3DCアーム」は患者さんの体内構造を立体的に可視化できる点が特徴です。

また、本装置は関西で初(※)となる自動走行型「3DCアーム」で、より精密で正確な診断や治療が可能になり、より正確な手術を行うサポートをすることで、患者さんへの負担を最小限に抑え、術後回復にも寄与します。

### 手術用ナビゲーションシステム

手術用ナビゲーションシステムは、自動車のナビゲーションに似た原理を使用したシステムです。神経や血管が近くにある脊椎に対して、手術器具の位置情報を画面表示することで、より安全で正確な手術をサポートします。



手術用3DCアーム



手術用ナビゲーションシステム



### 難しい手術も低侵襲かつ正確に

手術室が新しくなると同時に、全国でも3台しかない(※)最新の「手術用3DCアーム」を導入しました。頸椎にスクリーンを固定する難しい症例では、従来は手術後に室外までCTを撮影しに行っていました。この装置を導入したことで手術台の上に寝たままCTを撮影することができます。

また、併せて導入した「手術用ナビゲーションシステム」により、筋肉のダメージを最小限に抑え、身体への負担が小さい手術が可能になりました。従来は手術中に何度レントゲン撮影をしていましたが、「3DCアーム」と「ナビゲーションシステム」を組み合わせたことにより最初の1回の撮影で済み、被曝量を抑えることもできます。今までよりも患者さんの負担が小さく、さらに安心安全な脊椎手術を提供できるようになりました。

新しい手術室内では以前よりも多くのモニターが配置されており、見やすい位置にあるので手術の勝手が良くなっています。

※いずれも2024年2月現在

脊椎脊髄外科センターセンター長

小池 宏典



### 感染管理認定看護師

『病院に関わる全ての人々を感染症から守ります』

「感染管理認定看護師」とは、日本看護協会の認定を受け、患者さんやご家族、面会者、全職員と、病院に関わる全ての人々を病院内での感染症から守る活動を行う看護師のことです。

仕事内容は、感染の発生状況を調査する「医療関連感染サーベイランス」の実施、耐性菌などの検出菌の状況調査、感染防止対策の実施確認とアドバイス、感染対策マニュアルづくりなどを行っています。

感染症の「うつる」というイメージが先行しないように、感染症を正しく理解してもらい、各部署と連携を図り、一緒に感染対策に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付け変更され、海外渡航者や外国人観光者が増加したことで、新たな輸入感染症などさまざまな感染症が持ち込まれる可能性が高くなっています。また、咳が長引く「マイコプラズマ肺炎」が2016年以来的の流行となっています。そのため、病院内だけではなく、地域の医療機関や保健所の皆さんと連携を図りながら、感染対策活動に取り組んでいきたいと思っています。

看護部感染対策室 感染管理認定看護師

東海 弓恵

感染管理認定看護師としてこんな活動を行っています!

■感染症対策(シミュレーション含)研修会

2024年11月8日(金)

場所/茨木市立障害福祉センターハートフル4階

■令和6年度災害支援ナース養成研修会

2024年12月24日(火)

場所/ニプロiMEP



コラム





## イベントのお知らせ

みどりヶ丘病院第8回市民公開講座  
後援：高槻市・高槻市医師会

# おしっこ のことで 困っていませんか？

～人生百年時代！高齢者の排尿障害治療について～

参加  
無料

2025  
3/29(土)

会場 13:30～  
14:00～15:00(質疑応答を含む)

会場 クロスパル高槻8Fイベントホール  
高槻市高槻駅1-2 / JR高槻駅から徒歩5分

講師 みどりヶ丘病院 泌尿器科 部長  
濱口卓也 先生

定員 80名

お申込みについて  
080-3488-6793(申込み専用) \*お申し込みは先着順です。  
定員になり次第、終了となります。  
受付期間：3月3日(月)～3月14日(金) 平日 13:00～15:00(土日祝日は休み)

### 第8回市民公開講座

2025年3月29日(土)、クロスパル高槻8Fイベントホールにて「第8回市民公開講座」を開催します。先着80名様限定(要事前申し込み)ですので、3月3日(月)～3月14日(金)(土・日曜日は休み)の期間中にお早めにお申し込みください！

申込先 申込み専用

☎ 080-3488-6793

※申込み期限外は繋がりません



前回の市民公開講座の様子

### 糖尿病教室

## イベントレポート

### 第7回市民公開講座

2024年11月9日(土)、みどりヶ丘病院にて糖尿病教室を開催しました。医師による講義をはじめ、展示や測定・栄養相談など、多部署・多職種から、さまざまなイベントブースを出展しました。



2024年10月5日(土)、クロスパル高槻にて第7回市民公開講座を開催しました。

講演①

「正しく知ろう!糖尿病」 糖尿病内科部長 錢林雅子 医師

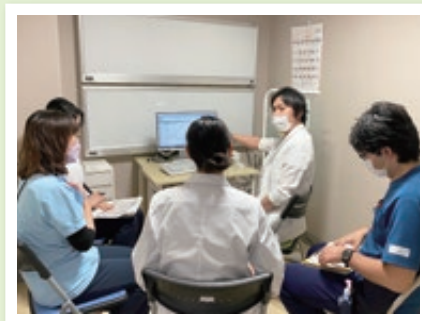
講演②

「はじめよう!フットケア」～自分で出来る足のお手入れ～  
みどりヶ丘訪問看護ステーション 安田敦子 看護師



### FLS (骨折リエゾンサービス) チーム

高齢で骨が弱くなった方は、一度骨折すると二次骨折のリスクが高くなります。特に腰は比較的若い時点で骨折する方が多く、腰を骨折する方は将来的に大腿骨を骨折する可能性も高いことから、当院では腰を骨折した方を対象に、薬物療法による二次骨折予防の「骨折リエゾンサービス (FLS)」を提供しています。現在は入院患者さんのみですが、将来的には外来での対応も考えています。



### ICLS (Immediate Cardiac Life Support) チーム

ICLSとは、突如の心停止を引き起こした患者さんに対して、蘇生をするための最初の10分間の対応のことをいいます。当院では、院内職員への急変時対応や一次救命処置の教育・研修に加え、近隣の消防の救急隊員などに向けて二次救命処置の講習を行っています。今後は地域住民向けの一次救命措置、AEDの使用方法などの講習会の再開を予定しています。



## チーム医療のご紹介



資格を取得しました!

【日本リハビリテーション医学会指導医】 リハビリテーション科 坂本洋子 医師

## 新任先生のごあいさつ

### リハビリテーション科

福原 涼介 (ぶくはらりょうすけ)

義肢装具等適合判定医師

2024年10月より赴任しましたリハビリテーション科の福原です。病气やケガによって受けた障害の治療とともに、日常生活を少しでも楽に送れるようお力添えできればと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

### リハビリテーション科

山元 拓磨 (やまもとたくま)

義肢装具等適合判定医師

2024年11月付でみどりヶ丘病院リハビリテーション科に着任いたしました山元拓磨です。疾病や臓器の特異的な治療だけでなく背景や生活まで全体的に診察し、患者さんが元の環境にスムーズに戻るよう努めてまいります。よろしくお願いたします。

### 脳神経外科

谷 萌子 (たにもえこ)

脳神経外科の若手スタッフとして勤務することになりました谷と申します。患者さんのニーズに合わせて臨機応変に対応できるよう、しっかりとお話をうかがい、診療にあたらそうと思えます。若輩者ではありますが、皆さま何卒よろしくお願申し上げます。

### 整形外科

大神 浩司 (おおかみこうじ)

はじめまして。みどりヶ丘病院 整形外科の大神浩司です。2020年に京都府立医科大学を卒業した後に、松下記念病院で初期臨床研修を行いました。現在は主に骨折の手術を行っており、その際は自分の祖父母に行っても後悔のないような治療を常に考え、実践しています。

患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供できるよう日々邁進していきますので、これからよろしくお願いたします。





## 診療所紹介 おおぎたに内科・胃腸内科



おおぎたに だいすけ  
院長 扇谷 大輔

### 開院したきっかけ

高校時代に救急医療特集などを観て医師に憧れ、大阪医科大学（現大阪医科大学）へ入学しました。卒業後は母親が消化器疾患になったことをきっかけに消化器内科医をめざしますが、大学病院では広く内科全般を学び、その後市立ひらかた病院にて、消化器内科を中心にあらゆる内科疾患の治療を行ってきました。この地での開院は大学時代から高槻で生活しているからだけでなく、市内の総合病院との連携が良好であるため、消化器内視鏡検査を中心に私の理想とする医療が提供でき、患者さんを総合的に診療できると考えたからです。

### 診療所の特長

食道や胃、十二指腸、大腸などの不調からくる胸焼け、腹痛、下痢などの消化器疾患、肝臓・胆嚢・すい臓などその他消化器疾患をはじめ、高血圧や糖尿病、脂質異常などの生活習慣病のほか風邪や発熱、予防接種、市民検診など内科

### 診療に対する想い

患者さんのお話をしっかりと伺いしたうえで病気や検査方法について詳しく説明し、検査や治療の選択肢をできるだけ多く提供できるよう配慮いたします。また、最新の知見に基づいた質の高い医療を提供することはもちろん、必要と判断した場合はみどりヶ丘病院をはじめ地域医療支援病院を紹介するなど、迅速で最適な医療を提供し、患者さんの健康に長く貢献できるクリニックになることができれば幸いです。

2015年10月に開院されたおおぎたに内科・胃腸内科は、今年開院10周年を迎えられます。消化器疾患をはじめとした内科診療や内視鏡検査等、院長の扇谷先生が中心となり、地域に寄り添った医療を提供されています。

に關わるあらゆる病気を診察いたします。

胃と大腸の内視鏡検査や腹部超音波検査(脂肪肝、胆石、すい臓の病変、腎結石など)、ピロリ菌検査、レントゲン検査など腹部全体の検査ができます。また血液検査では、白血球数、赤血球数、炎症反応の有無も数分で結果がわかる機器を導入していますので迅速に対応できます。

### おおぎたに内科・胃腸内科

- 住所 〒569-1142 大阪府高槻市宮田町1丁目29-18
- TEL 072-668-6705
- 診療時間 午前診療9:00~12:00(受付8:45~11:30)  
午後診療16:00~18:00(受付15:45~18:00)  
内視鏡検査他13:00~16:00
- 休診日 水曜日・木曜日・土曜日午後、日曜日、祝日
- HP <https://www.ohgitani-ichounaika-cl.com/>
- アクセス JR京都線「摂津富田」駅より  
高槻市営バスに乗り「土室南」バス停下車、徒歩1分



広報誌に関するご意見・ご感想  
お問い合わせは 祐生会広報まで

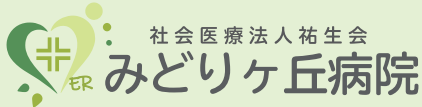
祐生会広報電話番号

**072-681-5764**

✉ [midori-info@midorigaoka.or.jp](mailto:midori-info@midorigaoka.or.jp)



みどりヶ丘病院  
ホームページ



〒569-1121 大阪府高槻市真上町3丁目13-1

診療受付時間 8:30~12:00  
※受付終了時間は診療科によって異なります。

休診日 日曜日、祝日、年末年始

時間外診療 24時間365日対応

お問い合わせ 072-681-5717 (代表)

## 栄養課 だより

### 健康パワー!!



バレンタインデーといえばチョコレート。あげたり、もらったりする人も多いのではないのでしょうか？今回はチョコレート健康パワーについてご紹介します。

チョコレートには、たんぱく質、脂質、糖質、食物繊維、ミネラル類などの成分が含まれていますが、特に注目したいのが「カカオポリフェノール」です。カカオポリフェノールとは、チョコレートやココアの原料であるカカオ豆に多く含まれているポリフェノール（植物に存在する苦味や色素の成分）のことです。チョコレートやココアのほかに、お茶や赤ワインにもポリフェノールは含まれています。

カカオポリフェノールを摂取することで、さまざまな効能が期待できます。

#### 1 高血圧の予防

カカオポリフェノールは細くなった血管内部に働きかけて血管を広げる作用があります。血管が広がると血流も穏やかになるため、高血圧予防が期待できます。

#### 2 動脈硬化予防

動脈硬化を引き起こす原因のひとつは、体内で生じる活性酸素によってコレステロールが酸化されることです。カカオポリフェノールには強い抗酸化力により酸化を抑える働きがあります。

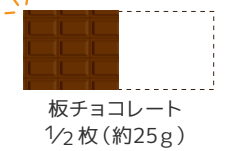
#### 3 脳の活性化

脳は加齢とともに記憶や学習などの認知機能が低下します。カカオポリフェノールは、神経細胞の成長や再生を促す物質である「BDNF（脳由来神経栄養因子）」に働きかけ、認知機能を高める可能性があります。

ただし、食べ過ぎには注意です。1日の目安は板チョコレートなら2分の1枚（約25g）を目安にしましょう。なお、高カカオチョコレートはミルクチョコレートより糖質が少なく、カカオポリフェノールが豊富に含まれているのでオススメです。



#### 1日の目安







社会医療法人祐生会  
みどりヶ丘病院

